

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	87	担当部課	福祉部 介護課								
事務事業名	敬老のつどい開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P69 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	4 高齢者福祉	(1) 高齢者が生き生きと暮らしていくための環境づくり	① 社会参加・就業の支援
関連する個別計画					
目的	永年にわたり社会に貢献されてきた方々に対して、その労をねぎらい長寿を祝うために、敬老の日を記念して湯河原町敬老のつどいを開催する。				
対象	65歳以上の住民				
内容	第一部 記念式典 第二部 ふれあいのつどい 第三部 舞踊 第四部 演芸				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	1,314,356	1,126,021	1,687,000		
	人件費	常勤職員	1,049,180	983,607	987,654	
		非常勤職員等				
		人件費合計	1,049,180	983,607	987,654	
	総事業費	2,363,536	2,109,628	2,674,654		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	271,000	309,000			
	一般財源	2,092,536	1,800,628	2,674,654		
財源合計	2,363,536	2,109,628	2,674,654			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
行事数	企画・運営	回	1	1	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
参加者数	企画・運営実績	人	500	570	600	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 敬老の日を記念して高齢者を敬うことは、町民の総意としてとらえるべきと考える。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 採算性を求める事業ではないが、年々参加者が増加していることから、事業の効果は増加している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 民謡歌手の演芸や保育園児とのふれあいなど楽しいひとときを過ごしていただくとともに、同世代の方々との交流が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 町内各地域から7台の送迎バスを運行するほか、新聞折込チラシ、町広報誌及び地方紙により広く周知している。

平成26年度までの改善点	プログラムの印刷を職員が担当し、需用費(印刷製本費)の節減を図った。
--------------	------------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	基本的に事業の企画など方向性を変更する予定はないが、演芸出演料の予算上、知名度の高い出演者を検討する余地が無い。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	敬老の日を記念して、高齢者の方々に楽しんでいただける行事として継続して実施していく必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	89	担当部課	福祉部 介護課								
事務事業名	湯河原町シルバー人材センター補助金										
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P69 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	4 高齢者福祉	(1) 高齢者が生き生きと暮らしていくための環境づくり	① 社会参加・就業の支援
関連する個別計画					
目的	健康で働く意欲のある高齢者が、その経験、知識及び能力を活かし、相互の協力のもとに働く機会を確保するとともに、地域社会への参加を通じた生きがいと相互の交流の進展により、高齢者の福祉の増進を図る。				
対象	湯河原町シルバー人材センター				
内容	運営経費(人件費)補助				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	3,819,000	3,350,000	3,100,000		
	人件費					
	常勤職員	163,934	163,934	164,609		
	非常勤職員等					
	人件費合計	163,934	163,934	164,609		
	総事業費	3,982,934	3,513,934	3,264,609		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	1,530,000				
	一般財源	2,452,934	3,513,934	3,264,609		
	財源合計	3,982,934	3,513,934	3,264,609		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
会員数		運営	人	145	154	200
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
就業延人員		運営実績	人	6,921	7,140	8,000

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	B	当該団体は、法人化により運営体制を強化したところだが、財政的な優遇措置(国庫補助)を活用しており、町費(国費同額)を補填する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	当該団体は、町の補助により財政的に安定した運営が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	会員数及び就業実績が増加している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	当該団体が存続することで、会員の活動が推進できる。

平成26年度までの改善点	一般社団法人化(平成26年4月)
--------------	------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	法人化して運営体制を強化したが、自主運営できる収益の増収は見込めない状況にあり、現状維持とする。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	高齢化の進展に伴い、今後ますます当該団体の役割が重要になっていくため、継続して実施していく必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・会員数、運営実績を目標値に近づけることを進める必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・現状維持とするが、収益の増収に向けてシルバー人材センターの努力を促すこと。(業務内容の周知等)
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	91	担当部課	福祉部 介護課								
事務事業名	高齢者健康増進事業										
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P69 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	4 高齢者福祉	(1) 高齢者が生き生きと暮らしていくための環境づくり	② 文化学習・スポーツ活動などの推進
関連する個別計画					
目的	高齢者の外出を促進しふれあいの機会を増やすことで、心と身体の健康増進を図る。				
対象	65歳以上の住民				
内容	①温泉施設利用事業(月4回/1人) ②マッサージ利用事業(年4回/1人) ③パークゴルフ場利用事業(月2回/1人)				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	4,563,693	4,138,632	5,451,000		
	人件費	常勤職員	393,443	393,443	395,062	
		非常勤職員等				
		人件費合計	393,443	393,443	395,062	
	総事業費	4,957,136	4,532,075	5,846,062		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	1,450,000	1,490,000			
	一般財源	3,507,136	3,042,075	5,846,062		
財源合計	4,957,136	4,532,075	5,846,062			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
事業数	事業種別	事業	2	2	3	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
利用者数	事業実績	人	8,832	7,655	10,000	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	高齢者の心身の健康の増進は、介護認定者の軽減につながる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	効果測定は困難であるが、外出意欲や運動習慣の向上効果が得られる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	パークゴルフを愛好する高齢者は近年増えており、利用者の増加が期待される。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	利用者の拡大を図るため、普及啓発を検討する。

平成26年度までの改善点	温泉施設については、平成23年度から湯河原駅に隣接する「ホテル城山」の指定により、利用者が格段に増加した。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	基本的に事業の企画など方向性を変更する予定はないが、高齢者が取り組みやすい事業を模索していきたい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	高齢化の進展に伴い、高齢者の心身の健康を維持することは介護予防上重要であるため、継続して実施していく必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・現状維持とするが、利用者の健康チェック、社会参加の状況等を報告書としてまとめ、効果を数値化できるように検討すること。
------	----------	---

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	92	担当部課	福祉部 介護課								
事務事業名	介護・生活支援事業										
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P70 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	4 高齢者福祉	(2) 地域生活支援体制の整備	④ 高齢者世帯に対する支援
関連する個別計画					
目的	在宅で生活する高齢者に対し、健康で安らぎのある日常生活をサポートする福祉サービスを提供し、自立した生活の継続を図る。				
対象	高齢者及び介護者				
内容	①外出支援サービス事業 ②緊急通報体制等整備事業 ③ヘルパー受講支援事業 ④高齢者在宅介護住宅改修事業				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	7,849,305	7,511,202	7,835,000		
コスト 人件費	常勤職員	393,443	393,443	395,062		
	非常勤職員等					
	人件費合計	393,443	393,443	395,062		
総事業費	8,242,748	7,904,645	8,230,062			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,242,748	7,904,645	8,230,062		
財源合計	8,242,748	7,904,645	8,230,062			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
事業数	事業種別		事業	4	4	4
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
利用人数	事業実績		人	157	151	163

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	B	高齢者の増加に伴い、将来的に地域での支援体制も検討する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	効果測定は困難であるが、在宅で生活する上での支援が提供できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	外出支援サービスは、自力では移動困難な方々の移動手段として確立している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	ひとりぐらし高齢者や自力では移動困難な方などの受益が確保されている。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	高齢者の在宅での安全・安心な生活をサポートする事業であり、現状維持とする。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	高齢化の進展に伴い、今後ますます在宅で暮らす高齢者が増加することから、事業を継続する必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	96	担当部課	福祉部 介護課							
事務事業名	老人クラブ活動等社会活動促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	事業開始年度	昭和 40 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P69 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	4 高齢者福祉	(1) 高齢者が生き生きと暮らしていくための環境づくり	① 社会参加・就業の支援
関連する個別計画					
目的	老人クラブは、地域の高齢者が「仲間づくり・生きがいがづくり・健康づくり」を目的にレクリエーションやボランティア活動等を行っている。				
対象	①単位老人クラブ(10団体) ②老人クラブ連合会				
内容	老人クラブ活動の活性化を図るため活動費を助成する。 ①単位老人クラブ(均等割@43,000円・会員数割@300円) ②老人クラブ連合会(460,000円)				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	3,597,913	1,034,000	1,061,000		
	人件費	常勤職員	3,213,115	3,213,115	3,193,416	
		非常勤職員等				
		人件費合計	3,213,115	3,213,115	3,193,416	
	総事業費	6,811,028	4,247,115	4,254,416		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	264,000	264,000	264,000		
	地方債					
	その他特定財源	2,500,000				
	一般財源	4,047,028	3,983,115	3,990,416		
財源合計	6,811,028	4,247,115	4,254,416			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
主要行事数(連合会)	企画・運営	件	6	6	6	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
主要行事参加者数(連合会)	企画・運営実績	人	959	993	1,200	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	高齢者の心身の健康の増進は、介護認定者の軽減につながる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	採算性を求める事業ではないが、助成金額を増額せず自己負担金を財源とすることで事業の拡充を図っている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	老人クラブ連合会では、主体的・積極的に活動を展開しており、各種事業の参加者数は確実に増加している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	町内の単位老人クラブ(10団体)の活動を支援している。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	今後さらに高齢化率が高まる中で、単位老人クラブを地域高齢者の魅力ある活動拠点として育成するとともに、老人クラブ連合会が主体的に活動を推進していく。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	高齢化の進展に伴い、高齢者の心身の健康を維持することは介護予防上重要であるため、継続して実施していく必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	101	担当部課	福祉部 介護課							
事務事業名	二次予防事業									
予算科目コード	会計	06	款	03	項	01	目	01	事業開始年度	平成 18 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P73 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅲ 社会保障の充実	1 介護保険	(3) 介護予防事業の推進	① 地域支援事業による介護予防の推進
関連する個別計画	第6期介護保険事業計画				
目的	要支援・要介護になるおそれのある高齢者を対象として、介護予防を実践することで自立した生活を維持するもの。				
対象	要支援・要介護になるおそれのある高齢者 (二次予防事業対象者把握事業で対象者を把握)				
内容	①通所型(口腔機能・運動器の機能向上教室、物忘れ予防教室等) ②訪問型(電話相談・訪問指導)				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	1,288,305	1,354,419	1,874,000		
	人件費	常勤職員	655,738	655,738	658,436	
		非常勤職員等				
		人件費合計	655,738	655,738	658,436	
	総事業費	1,944,043	2,010,157	2,532,436		
財源内訳	国庫支出金	322,076	338,604	469,000		
	県支出金	161,038	169,302	234,000		
	地方債					
	その他特定財源	521,763	548,539	755,000		
	一般財源	939,166	953,712	1,074,436		
財源合計	1,944,043	2,010,157	2,532,436			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
予防事業数	事業種別	件	4	4	5	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
参加者数	事業実績	人	39	63	70	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	介護保険法に位置付けられた地域支援事業
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	効果測定は困難であるが、運動習慣の向上効果が得られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	身体の状態を把握し予防事業を実践することで、運動器機能等の維持の意識付けが図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	対象者に対する参加率が低い。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業へ移行する。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	平成28年度まで現行の事業を継続する。
------	----------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・現状維持とするが、参加人数の増加に努め、効果の測定を実施すること。
------	----------	------------------------------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	101	担当部課	福祉部 介護課							
事務事業名	一次予防事業									
予算科目コード	会計	06	款	03	項	01	目	02	事業開始年度	平成 18 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P73 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅲ 社会保障の充実	1 介護保険	(3) 介護予防事業の推進	① 地域支援事業による介護予防の推進
関連する個別計画	第6期介護保険事業計画				
目的	一般高齢者を対象として、体力維持や外出意欲の向上を目的とした介護予防を実践することで、高齢者の心身の健康づくりを促進する。				
対象	自立した生活をおくることができる高齢者				
内容	①公園体操・老人クラブ体操・区会体操教室 ②通所型介護予防事業(グループリビングの運営)				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	1,641,468	1,590,116	1,831,000		
	人件費	常勤職員	655,738	655,738	658,436	
		非常勤職員等				
		人件費合計	655,738	655,738	658,436	
総事業費	2,297,206	2,245,854	2,489,436			
財源内訳	国庫支出金	410,367	397,529	458,000		
	県支出金	205,183	198,764	229,000		
	地方債					
	その他特定財源	664,794	643,996	742,000		
	一般財源	1,016,862	1,005,565	1,060,436		
財源合計	2,297,206	2,245,854	2,489,436			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
予防事業数	事業種別	件	4	4	5	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
参加者数	事業実績	人	1,781	1,657	1,957	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	介護保険法に位置付けられた地域支援事業
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	効果測定は困難であるが、外出意欲や運動習慣の向上効果が得られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	定期的を実施することで、運動器機能等の維持の意識付けが図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	事業個所を拡充して参加しやすい環境を整える必要がある。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	予防事業の普及・啓発を図るため、公園体操の拡充を検討する。
平成28年度以降の方向性	平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業へ移行する。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	平成28年度まで現行の事業を継続する。
------	----------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--